

「エミリオ神父様に再会！」

谷口 久子

今年の四旬節の黙想会指導はエミリオ神父様と知り、20数年振りの再会に胸が高鳴ります。振り返れば28年前ヨーロッパ巡礼、バチカン、ルルド、アシジの同行指導司祭としてエミリオ神父様には大変お世話になりました。

大津、草津、唐崎教会28名のメンバーの仲間として2人で参加させて頂きました。特に主人の還暦60歳を記念しての参加でした。お陰様で主人は今年米寿88歳を元気に迎える事が出来ました。

大津教会は私達を育てて下さった心のふるさとの教会です。大津教会での行事には必ず参加を心掛け、伺えば懐かしい方達との再会に喜びをかみしめております。

黙想会のテーマ

『あなたがい共同体になるためには』

コミュニティで何かを企画し準備の為に話し合うと 『意見の違い等で揉めたりする事が多々あります』 しかし、大きな事を企画するより 『みんな一緒に出来る小さな事から』 始めれば負担にならないのではと参考になるお話をして下さいました。

参考のために左記を紹介されました。

既に身近な方が本を持っておられました。

本 ジャン・バニエ

『コミュニティ ゆるしと祝祭の場』

佐藤仁彦訳、一麦出版社、2003年

ISBN 978-4-90066-657-3

社会福祉法人 ラルシュ かなの家

障害者と共に生きる事、手助けする事、本当の共同体について、喧嘩もするが、孤独にもなる、ゆるしも必要、勿論献金も必要、社会から邪魔者にされたりしても、

『神様からの賜物プレゼントと健常者が認めない限り、共に生きる事は出来ない。』 一人ひとりの才能、美しさを見つけ出し神と共にいる事、温かい共同体の中に神から招かれてここに居るのです。

と、障害者と共に生きる為にはと、心に寄り添う温かな眼差しで熱く紹介されました。

個人黙想

① ルカによる福音 15章11〜31節

放蕩息子のお話、真面目な兄と自由奔放な弟の生き方について、父親の兄弟に対する寛大な愛と慈しみの心で、子供を平等に扱われるお話・・・父親を通して神様の寛大なゆる

しの教えを学ばせて頂きました。

② マタイによる福音 18章21〜25節

ペトロがイエスのところに来て言った。

『主よ、兄弟がわたしに対して罪を犯したなら、何回許すべきでしょうか、7回までですか。』 イエスは7回どころか7の70倍・・・と、言う借金返済のお話・・・ あなたが

たの一人一人が、心から兄弟を許さないなら、天の父もあなたがたに同じようになさるでしょう。

と、上記のたとえ話をじっくり読んでこの四旬節を黙想してくださいと指導されました。今日の黙想会を振り返り、改めて気付きを黙想し心の糧になるよう努めたいと思います。21年振りの再会が叶い黙想会に参加させて頂き本当に有難う御座いました。

